



2008年度 決算説明会

2009年 5月20日

ユニチカ株式会社



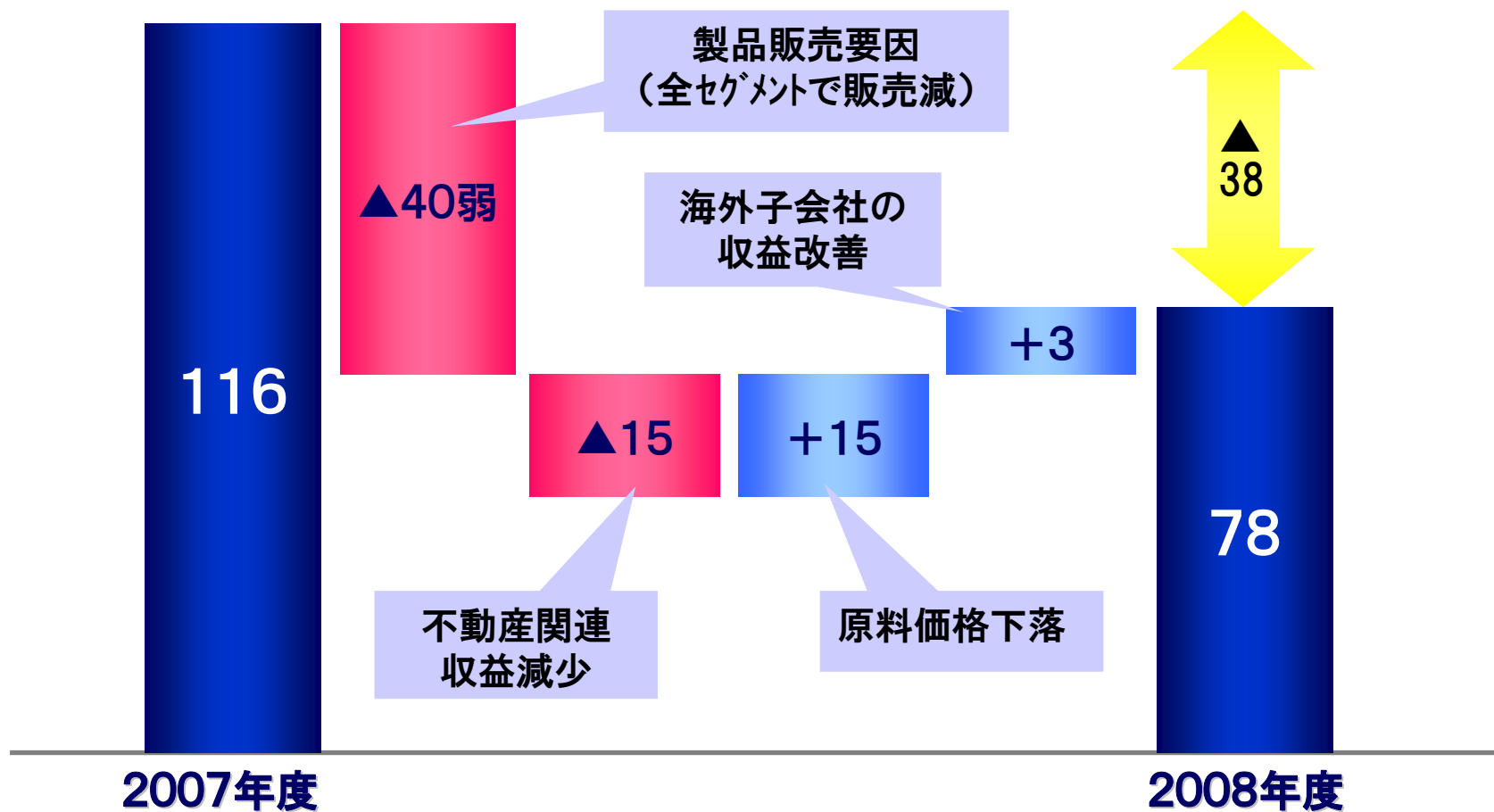
2008年度 通期決算の概要

(金額単位:億円)	2008年度	2007年度	前年度比増減	
			金額	率(%)
売上高	2,096	2,347	▲252	▲10.7
営業利益	78	116	▲38	▲32.8
経常利益	33	80	▲47	▲58.3
当期純利益	▲140	16	▲155	—

- ◆ 期後半からの世界的なりセッションの影響などにより収益は大幅に減少（特に繊維事業、環境事業中心に収益減）
- ◆ 高分子事業は、フィルム分野での採算改善がみられる
- ◆ 構造改革特損・約100億円を計上し、140億円の当期赤字

営業利益の増減要因分析

(単位:億円)



B/Sの状況

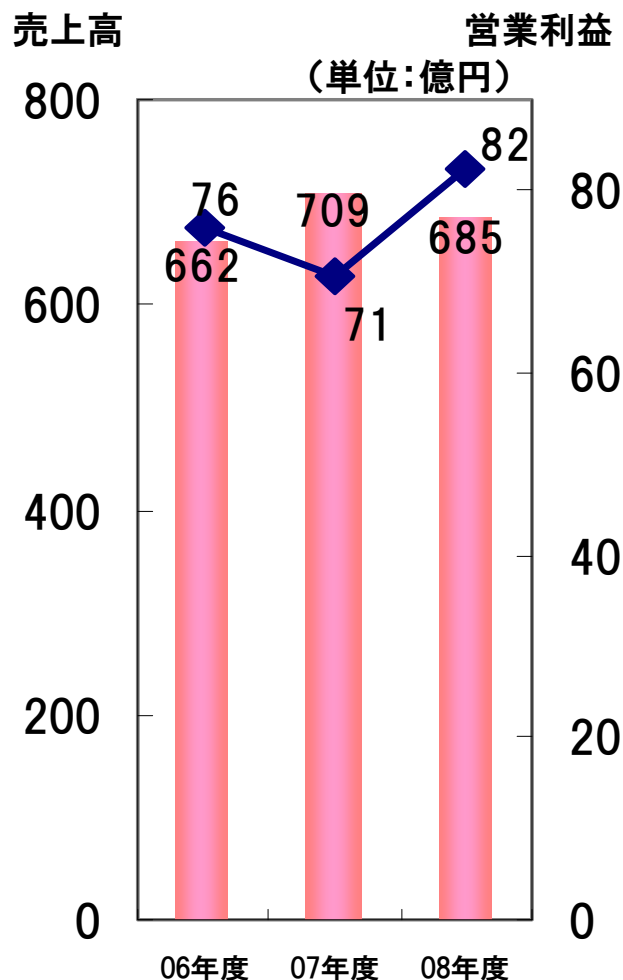
(単位:億円)		2009年 3月末	2008年 3月末	前期末比 増減	
資産合計		2,828	3,090	▲ 262	主に売上債権の減少
流動資産	1,151	1,338	▲ 187		
固定資産	1,678	1,753	▲ 75		
負債合計		2,631	2,707	▲ 76	主に買掛債務の減少 有利子負債は 概ね横ばいで推移
純資産合計		197	384	▲ 186	主に当期損失要因 在外子会社の土地再 評価差額金取崩、 子会社株式取得によ る少数株主持分減少 等
株主資本	176	326	▲ 150		
評価・換算差額等	▲15	10	▲ 25		
少数株主持分	36	48	▲ 11		

セグメント別 収益変動まとめ

	売上高			営業利益		
	2008年度	2007年度	増減	2008年度	2007年度	増減
(単位:億円)						
高分子	685	709	▲24	82	71	+12
環境・機能材	304	352	▲48	19	32	▲14
繊維	906	1,046	▲140	▲2	17	▲19
生活健康・その他	200	241	▲40	13	29	▲15
消去・全社				▲35	▲33	▲1
合計	2,096	2,347	▲252	78	116	▲38

セグメント別 収益変動

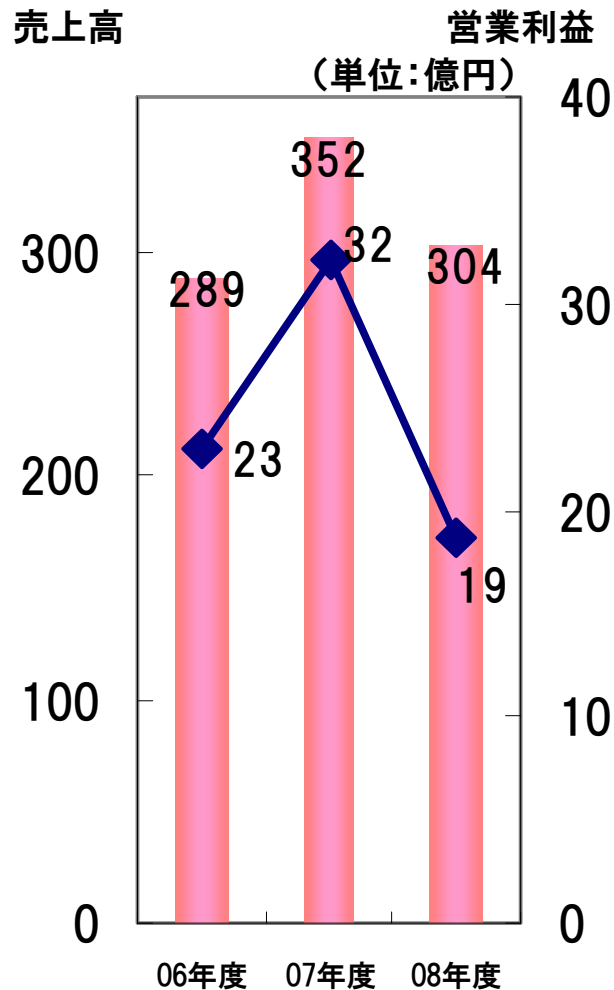
高分子事業



フィルム	減収 増益	<ul style="list-style-type: none"> ◆包装、工業用とも景気悪化で販売減 ◆価格改定、原料価格下落で採算改善 ナイロンフィルム中心に増益 ◆海外ナイロンフィルム子会社の収益が改善（インドネシア）
樹脂	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ナイロン樹脂は、自動車、電機電子分野が販売減 ◆ポリエステル樹脂はシート用、医療用等が伸長、収益は前年並みを維持 ◆ポリアリレート樹脂は高付加価値分野が伸び悩み収益減
不織布	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆スパンボンドは自動車用途、輸出向けが大幅に落ち込み収益減 ◆綿スパンレースは衛材、化粧雑貨用を中心に堅調に推移

セグメント別 収益変動

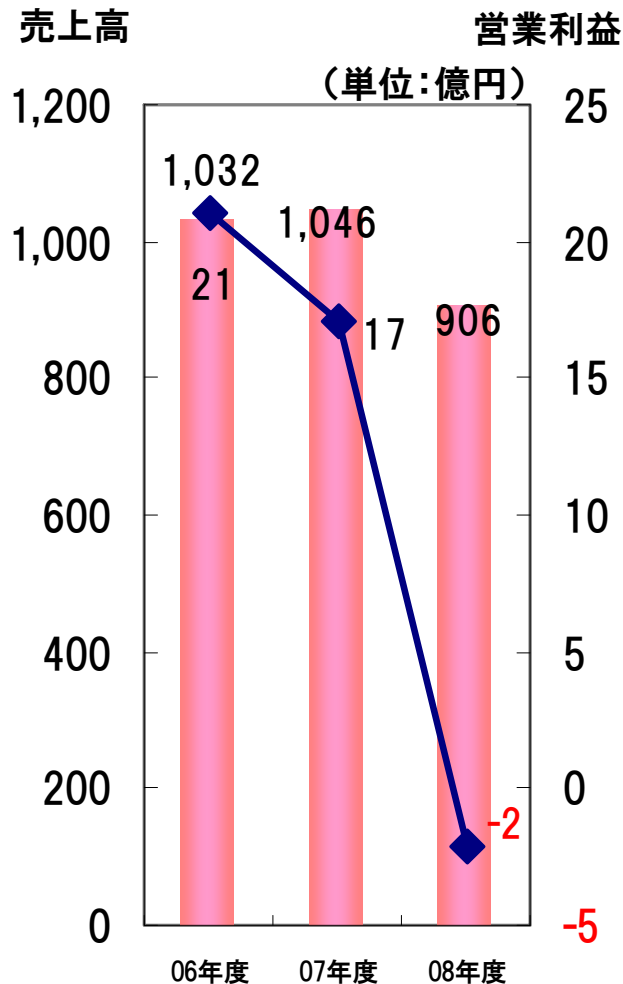
環境・機能材事業



環境	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆官公需市場の発注量低迷、民間の環境関連設備の投資減などで全般的に厳しい収益状況が続く ◆廃棄物処理関連で新規案件の絞り込みを行い売上減、水処理は全般的に受注低迷 ◆メンテナンス分野、薬剤・民間水処理分野は前年並み
機能材	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆活性炭繊維が家庭用浄水器、脱臭フィルター向け等で伸長 ◆産業資材向けガラス繊維が建築・自動車用等が低迷し収益減 ◆ICクロスは電子部品業界の市況悪化により収益減 ◆高品位ガラスビーズは道路用、工業用中心に堅調に推移

セグメント別 収益変動

繊維事業

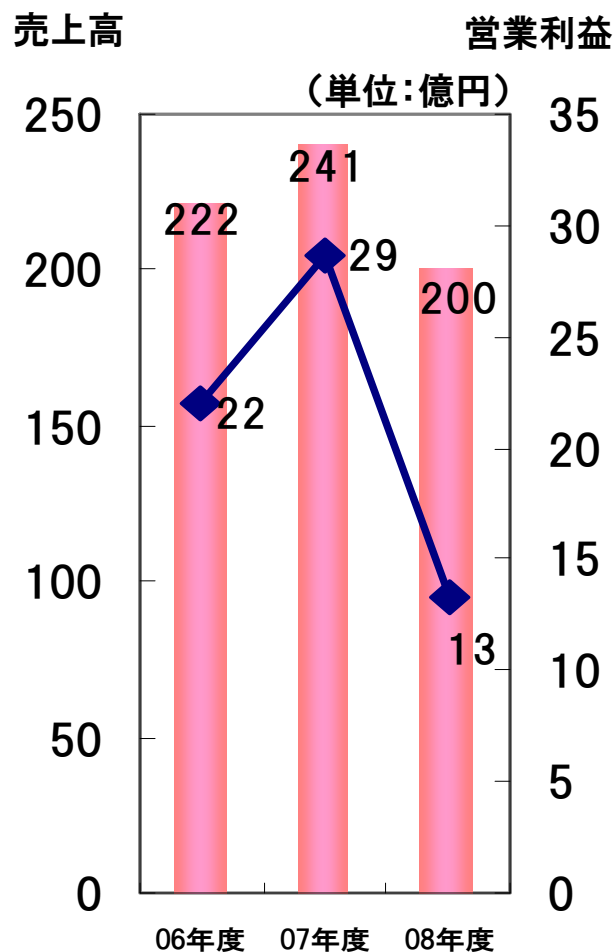


合成繊維	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 低迷が続く衣料繊維に加え、ポリエステル高強力糸などの産業用繊維の収益が減少 ◆ ビニロン繊維は、FRC向けが増設機台を含め概ねフル生産の状況だが、全般的に市況悪化等で収益減
天然繊維	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ユニフォーム分野の備蓄ワーキングアパレルが生産調整等で収益減 ◆ 個人消費低迷で一般衣料は減少、寝装分野も低調 ◆ 特需関連は大口案件が減少

(単位: 億円)	売上高			営業利益		
	08年度	07年度	増減	08年度	07年度	増減
ユニチカファイバー	332	382	▲50	▲4.0	1.2	▲5.2
ユニチカテキスタイル	178	215	▲37	▲3.8	1.0	▲4.8

セグメント別 収益変動

生活健康・他事業



生活健康	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康補助食品、サプリメント商品は減少基調 ◆セラミド、アラビノース等の食品機能素材の大手ユーザーでの採用が進む ◆メディカルは医材分野での償還価格改定の影響で収益減 ◆酵素分野が欧米向けで収益減
その他	減収 減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆マンション販売、営業用不動産関連の収益が減少 ◆設備技術等、その他事業で収益減

※その他事業

不動産関連(マンション販売、賃貸、営業用不動産開発)
設備技術、情報システム等

2009年度 通期決算予想

(単位:億円)	2009年度 通期予想	2008年度 通期実績	前年度比 増減
売上高	1,820	2,096	▲ 276
営業利益	85	78	+ 7
経常利益	40	33	+ 7
当期純利益	35	▲140	+ 175

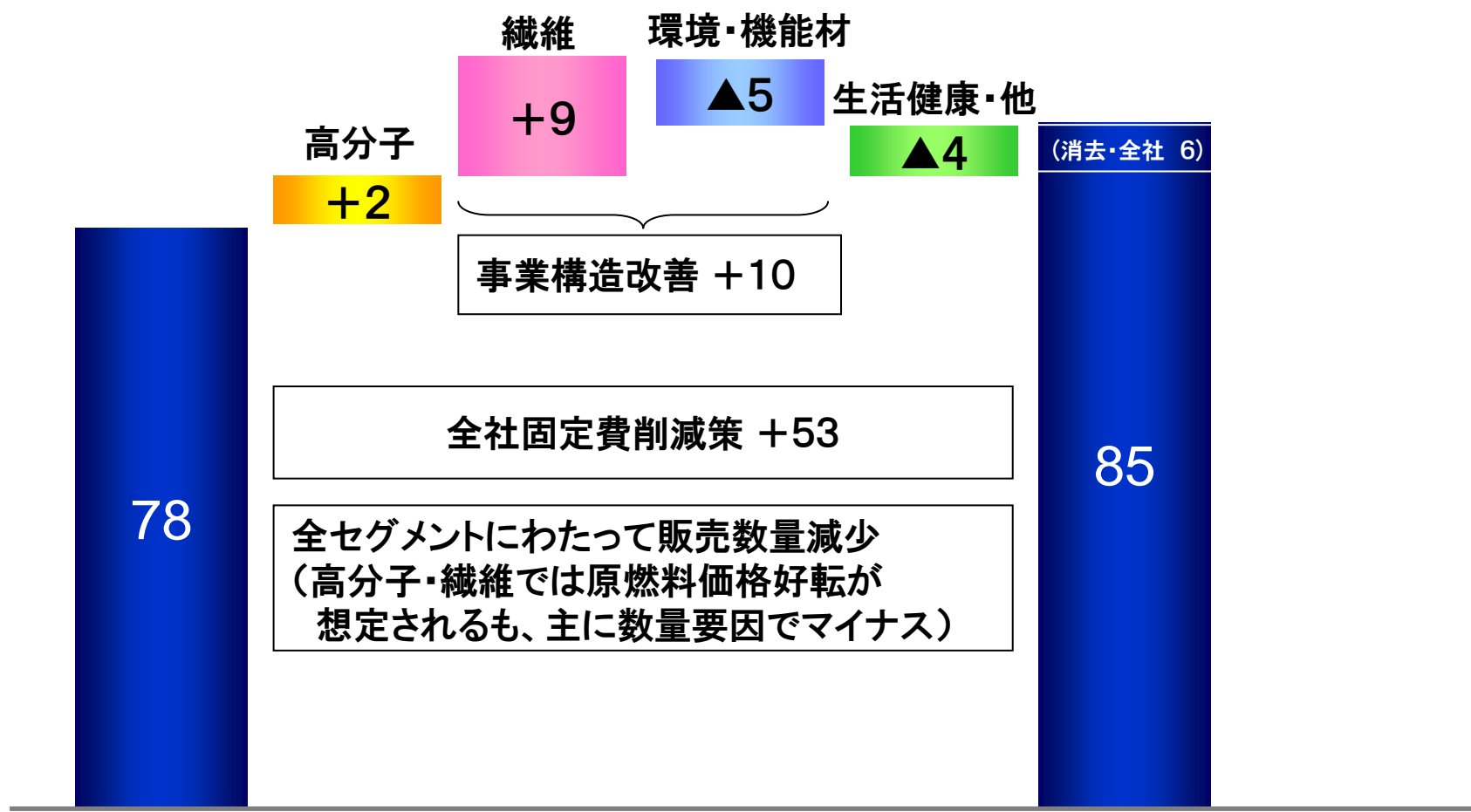
- ◆前年度比減収、営業段階で若干の利益改善を予想
- ◆各セグメントにわたり販売減少基調が続く一方で、構造改革の収益効果が徐々に顕在化し、利益減をカバー
- ◆特損規模の縮小などにより当期純利益の改善が進む見込

セグメント別収益変動 通期予想

(単位:億円)	売上高			営業利益		
	2009年度 通期予想	2008年度 通期実績	増減	2009年度 通期予想	2008年度 通期実績	増減
高分子	600	685	▲85	84	82	+2
環境・機能材	170	304	▲134	14	19	▲5
繊維	830	906	▲76	7	▲2	+9
生活健康・その他	220	200	+20	9	13	▲4
消去・全社				▲29	▲35	+6
合計	1,820	2,096	▲276	85	78	+7

通期 営業利益増減予想(セグメント別)

(単位:億円)



2008年度通期実績

2009年度通期予想

設備投資等の状況

(単位:億円)	2009年度 予想	2008年度 実績
減価償却費	68	73
設備投資	41	82

◆今年度、固定費削減策の一環として償却負担増加抑制を図る

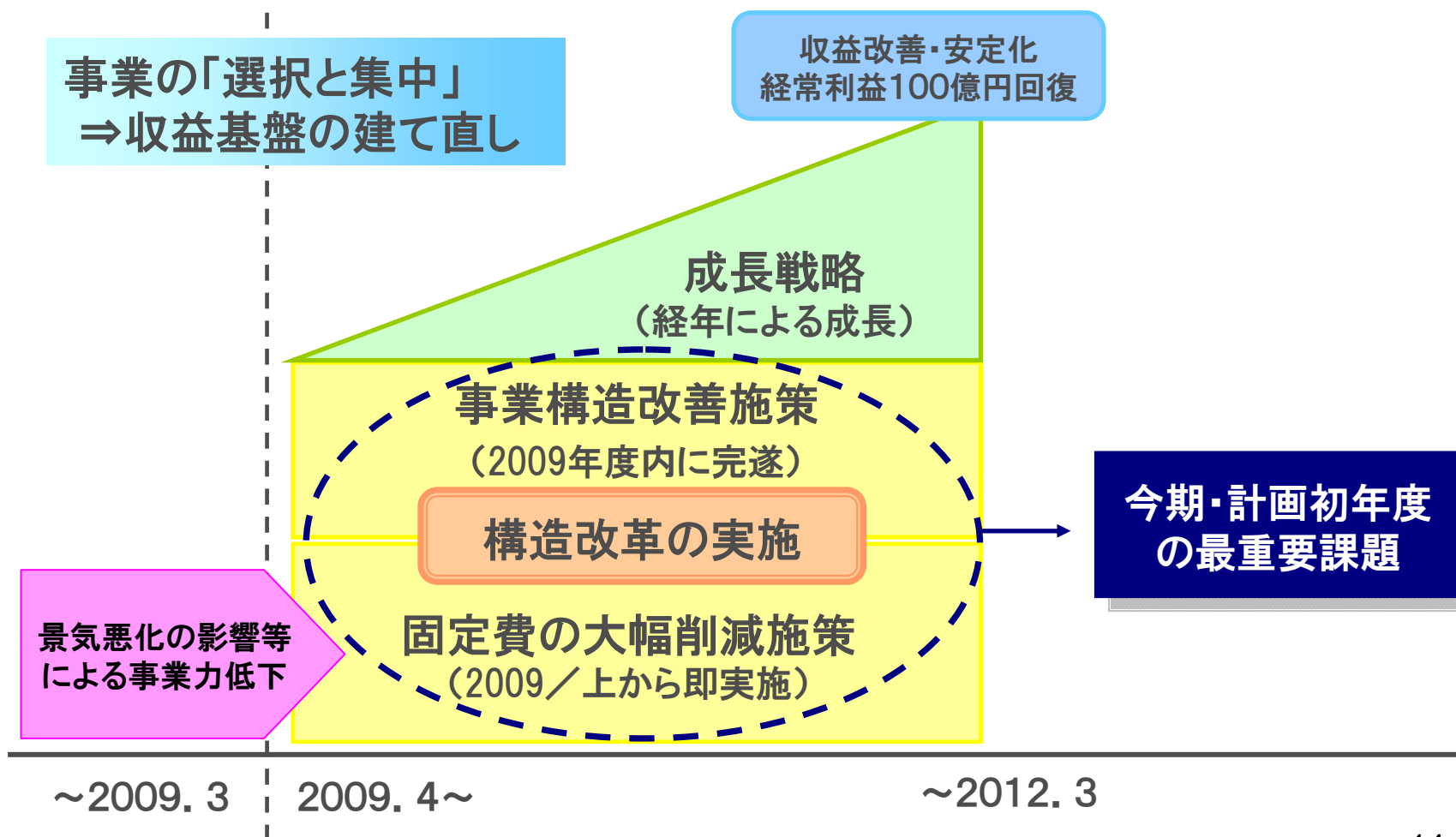
[セグメント別内訳]	2009年度 予想	2008年度 実績
高分子	20	19
環境・機能材	3	15
繊維	13	31
生活健康・他	5	18

反射材などのガラス関連
事業中心

主にセメント補強用ビニロン
(FRC)増設[3000t/年]

今後の課題

➤ 新中期経営計画『改革 '11』の位置づけ



➤『構造改革』の概要

◆事業構造改善の概要	
1. ナイロン長繊維事業の撤退 [宇治工場]	
2. ウール・綿紡織事業再構築に伴う工場閉鎖・縮小 [宮川工場閉鎖(ウール) 常盤工場縮小(綿紡織)]	
3. 環境事業の再構築 [官需プラント事業(廃棄物・水処理)の運営体制の見直し]	
4. 関連不採算事業の見直し	
・電子基板事業の見直し	
・合繊部門の川中加工・販売事業の効率化	

2009年上期中には、衣料繊維事業の再編について具体策立案の予定

◆固定費削減策の概要	
1. グループ従業員削減	<ul style="list-style-type: none"> ・45歳以上管理職に対する希望退職の実施(60名応募) ・嘱託社員の契約期間満了に伴う退職等 [上記でグループ従業員150名程度削減]
2. 役員報酬を含む人件費の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ役員、執行役員の報酬減額 ・管理職、一般従業員の年収を平均18%程度削減

ご注意

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。